



かぞ 市議会だより

発行日／平成29年11月15日

発行／加須市議会

〒347-8501 加須市三俣二丁目1番地1

TEL 0480 (62) 1111(代)

<http://www.city.kazo.lg.jp/>

◎第33号◎

目次

第3回定例会のあらまし……………P 2～3
市政に対する一般質問……………P 6～11
委員会の審議内容……………P 12～13
市民公開研修講座を開催しました…P 15

議案に対する質疑……………P 4～5
議案に対する討論……………P 11
議案の審議結果……………P 14
議員活動紹介……………P 16

北川辺幼稚園児による稲刈り（北川辺ライスパークにおいて）

第3回 定例会の あらまし

平成29年第3回定例会は、9月1日から10月2日までの32日間の会期で開催しました。

今定例会におきましては、平成28年度一般会計決算をはじめとした市長提出議案22件、議員提出議案2件を審査し、9件を原案可決、2件を原案可決及び認定、12件を認定、1件を否決としました。

なお、詳細につきましては、14ページをご覧ください。

平成28年度加須市一般会計決算額

歳入	445億 854万円 (前年度比6.7%増)
歳出	414億6,659万円 (前年度比9.7%増)
差引	30億4,195万円

平成28年度一般会計の主な歳入

区分	歳入額	構成比
市税	151億5,079万円 (133,190円)	34.0%
地方交付税	63億7,832万円 (56,072円)	14.3%
国庫支出金	54億5,349万円 (47,941円)	12.3%
繰越金	39億3,786万円 (34,618円)	8.9%
市債	31億8,952万円 (28,039円)	7.2%
県支出金	24億1,726万円 (21,250円)	5.4%
諸収入	13億4,150万円 (11,793円)	3.0%

平成28年度一般会計の使いみち (歳出)

民生費



152億7,646万円
(134,295円)

衛生費



56億3,799万円
(49,563円)

総務費



51億8,656万円
(45,595円)

教育費



44億7,893万円
(39,374円)

公債費



35億8,349万円
(31,502円)

土木費



34億1,145万円
(29,990円)

消防費



16億4,263万円
(14,440円)

農林水産業費



13億8,770万円
(12,199円)

その他 (商工費・議会費など)



8億6,140万円
(7,573円)

() 内の数字は、市民1人当たりの金額です。H29.3.31現在 住民基本台帳人口113,753人
※各数値は単位未満四捨五入のため、合計額などが整合しない場合があります。

平成28年度一般会計決算等認定

平成28年度特別会計・企業会計決算額一覧表

会 計 名			歳出決算額	会 計 名			歳出決算額
住宅新築資金等貸付事業			169万円	国民健康保険事業			149億9,975万円
国民健康保険直営診療所			1億 377万円	後期高齢者医療			9億6,247万円
介護保険事業			73億5,230万円	農業集落排水事業			6億8,940万円
不動岡土地区画整理事業			200万円	三保第二土地区画整理事業			3,769万円
野中土地区画整理事業			2億7,416万円	栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業			1億2,316万円
河野博士育英事業			614万円				
水道事業	収益的収支	収入	28億3,107万円	下水道事業	収益的収支	収入	17億9,842万円
		支出	25億6,229万円			支出	16億8,328万円
	資本的収支	収入	3億4,991万円		資本的収支	収入	14億9,343万円
		支出	12億6,423万円			支出	20億1,117万円

※単位未満は四捨五入です。

※企業会計は、経営活動に伴い発生する収益的収支と、将来の経営活動のために行う借り入れや施設建設などの資本的収支に区分されます。また、不足額については、内部留保資金(減価償却費など実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金や利益剰余金)で補っています。

主な議案の一部を紹介します。

一般会計補正予算 (第3号)

・ 公共施設等再整備基金事業 (3億円)

公共施設等の建替え又は改修等に充てるため、平成28年度の決算剰余金である繰越金の一部を公共施設等再整備基金に積み立て、将来への備えとするものです。

・ 学校教育管理事業 (596万2千円)

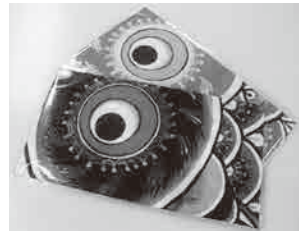
・ 小学校就学援助事業 (312万7千円)

・ 中学校就学援助事業 (436万1千円)

国の制度改正を受け、準要保護の児童及び生徒の保護者に対し、平成29年度から新入学児童生徒学用品費の前倒し支給を確実に実施するため、就学援助システムの導入及び、支給に要する経費です。

・ 加須市PR・営業推進事業 (43万1千円)

加須市をPRするこいのぼり手ぬぐい購入の増加・要望に対し、追加の作成に要する経費です。



条 例

◇加須市個人情報保護条例及び加須市情報公開条例の一部を改正する条例

個人情報保護に関する法律等の一部改正を踏まえ、加須市個人情報保護条例において個人情報の定義を明確に定義し直すとともに、関連する加須市情報公開条例において非公開とする個人情報の定義について同様の見直しをするものです。

議員提出議案

北朝鮮の核実験に強く抗議し、米朝対話による外交的解決を求める決議

北朝鮮は9月3日、6回目の核実験を強行した。北朝鮮の核実験は、今年だけで弾道ミサイル発射を14回も行い、世界と地域の平和と安定にとつて重大な脅威であり、累次の国連安保理決議に違反する暴挙である。

国連は今年7月、核兵器を廃絶する核兵器禁止条約を採択し、条約を発効させるため各国の署名手続きが始まっている。このようなとき、北朝鮮の核実験強行は、核兵器のない世界を求める世界の大勢に真っ向から逆らうもので、断じて許されないものである。

加須市は平和都市を宣言し、「全世界の人々に核兵器等の廃絶を強く求め、戦争や紛争などが繰り返されることのないよう、平和の尊さを訴え」ている。そこで加須市議会は、怒りを込めて北朝鮮の暴挙を厳しく糾弾し、強く抗議するものである。

いま大きな危険は、偶発的な事態や誤算によって、軍事衝突が引き起こされる可能性が強まっていることである。万が一、そのような事になれば、その被害は日本にもおよび、極めて深刻な事態とならざるを得ない。おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は絶対に回避しなければならない。

よつて加須市議会は、北朝鮮に対して、軍事的な挑発を直ちに中止するよう強く求めるとともに、現在の危機を打開するため、米朝両国が無条件で直接対話に踏み出すよう、強く求めるものである。

私たちが慎重に チェック

可決された 主要な議案と 疑質

**加須市消防団員の定員、
任免、給与、服務等に関
する条例及び加須市非
常勤消防団員に係る退職
報償金の支給に関する条
例の一部を改正する条例**

議員 地域の安全・安心を守る消防力の充実及び強化のため、消防団組織に機能別団員を新たに加える改正でありませんが、消防団員数の現状、機能別団員20名の募集方法、活動内容と活動回数及び服装、さらには、報酬を支給しない理由について伺います。

環境安全部長 消防団員数の現状につきましては、平成29年4月1日現在、条例定数より21名少ない404名、また、21分団中12分団が定数20名に対し、定員割れという状況となっております。

機能別団員の募集方法につきましてはは、在住者の学生に対しては、市のホームページやチラシにより、広く募集を行い、通学者に対しては、平

成国際大学と連携し、アンケートや消防団の役割などの説明を行っており、引き続き説明会を開催し、募集を行ってまいります。機能別団員は、火災現場での活動は行わず、火災予防及び消防団PR活動を中心とし、大規模災害時には避難所でのサポート、支援活動及び救済物資等の管理や配付などの支援活動を想定しており、年間6回程度の活動を予定しております。なお、活動時における服装は蛍光ベスト、帽子、皮手袋を支給する予定です。

報酬につきましては、職務が極めて限定的であり、任命期間が5年未満であることから、また、埼玉県警察が委嘱した学生の無償ボランティア防犯組織も参考に、支給しないものとなりました。

※今回改正した機能別団員は、大学生等の学生であった、市長が定める特定の職務に従事する団員です。

**加須市プラザきさい条例・
加須市立コミュニティ
センター条例の一部を
改正する条例**

議員 加須市プラザきさいの施設構成と概要について、また、地域の活性化を図るのであれば、児童館的スペースに専門職員を配置することが必要であると思いますが、考えをお伺いします。

騎西総合支所長 加須市プラザきさいは、騎西総合支所、騎西コミュニティセンター及び騎西保健センターの3つの施設で構成するものです。主な施設の概要は、南側庁舎の1階は総合支所各課の窓口と執務スペース、2階は会議室、物品庫及び双葉町埼玉支所の執務スペース、3階は騎西コミュニティセンターとして多目的ホールを含む貸し会議室やキッズルームとなっております。

また、児童館的スペースの活用については、3階は親

子、または友達同士で気軽に立ち寄れる環境の整備をしたいと思います。なお、利用に当たってはルールを定め、多目的ホールや他の会議室についても利用していただくことを考えております。また加須市プラザきさいは、複合施設として職員を配置し、管理、運営することになっておりますので、児童館的スペースへの専門職員を配置することは考えておりません。

会議室等の利用区分及び使用料

区 分	昼 間		夜 間	全 日
	午前9時 ～正午	午後1時 ～午後5時	午後6時～ 午後10時	午前9時～ 午後10時
多目的ホール	1050円	1400円	1400円	3850円
301会議室	300円	400円	400円	1100円
302会議室	300円	400円	400円	1100円
303会議室	300円	400円	400円	1100円
304会議室	200円	300円	300円	800円
和 室	150円	200円	200円	550円

平成29年度一般会計 補正予算（第3号）

《医療体制確保基金事業》

議員 今回、済生会病院を誘致するための基金へ5億円積み立てると、基金の総額は35億円になります。まずは、済生会病院の病院建設整備計画がどうなるのかということが、重要であります。市の最優先課題として、どのように取り組んでいるのかお伺いします。

市長 本件につきましては、非常に大きな課題であり、これまで円滑に進めるための情報公開、情報提供については適切に行ってきたとおりです。今回、特に大きな進展があったというわけではありませんが、この事業をさらに円滑に進めるとともに、済生会の皆様方の後押しをするために、財政支援として、基金に5億円を積み増しするものです。これで基金の額は35億円になります。35億円を支出する

ということを決めたわけではなく、財政支援をするための心構えとして、用意するものです。なお、施設整備計画については、出来るだけ早く済生会として決定していただきたいと考えております。

《小学校就学援助事業・中学校就学援助事業》

議員 来年度入学する小・中学校の新生児に対し、入学前に入学準備金を支給するためのもですが、対象者数と支給単価、支給時期及び認定方法についてお伺いします。

学校教育部長 小学校入学予定者については、新入学児童学用品費の支給単価が4万6000円で対象者は115人、中学校入学予定者については、新入学生徒学用品費の支給単価が4万7400円で対象者は116人を見込んでおります。また、支給時期については、小学校入学予定者は3月上旬ごろ、中学校入学予定者は2月上旬ごろを予定してお

ります。

なお、制度改正により、新入学児童生徒学用品費に限り、認定基準を前々年の所得に変更いたします。



平成28年度一般会計 決算認定

《土木費 橋りよう新設改良費》

議員 平成26年7月の道路法施行規則の改正で、橋りようの長寿命化の点検に関する基準が定められました。決算年度に業務委託で実施した460件の点検結果と対策、今後の点検予定についてお伺いします。

建設部長 健全性の診断結果は、健全性Ⅰの健全が278橋、健全性Ⅱの予防保全段階が156橋、健全性Ⅲの早期措置段階が22橋、健全性Ⅳの緊急措置段階が4橋となっております。この4橋については、

いずれも人命第一を考え、地域住民の方々のご理解を得て周知を図った上で、全て通行止め

の措置を講じております。全橋りようの点検が完了する平成30年度末には、市内の全ての橋りようの健全性の状況が把握できることから、架設時期、交通量、災害時の緊急輸送道路、通学路などを考慮し、耐震化や修繕だけでなく、再配置、通行規制、廃止なども含めて検討しながら、改めて優先順位をつけ、整備計画を策定し、計画的に実施してまいりたいと考えております。



平成28年度国民健康 保険事業特別会計 決算認定

議員 国保事業は決算年度において通常業務とともに、来年度から埼玉県が県内の63市

町村と共同保険者となり制度を運営する国保の広域化を準備してきた年度となっております。国保の広域化に向けて、県当局の対応についてお伺いします。

健康医療部長 事業運営の基本となる埼玉県国民健康保険運営方針を作成するため、これまで埼玉県市町村国民健康保険広域化等推進会議を6回、埼玉県国民健康保険運営協議会を4回開催し、審議が進められてまいりました。パブリックコメントも終了し、現在、いただいた意見等をもとに、埼玉県国民健康保険運営方針（案）の修正を行っており、9月14日に開催される平成29年度第3回埼玉県国民健康保険運営協議会において、修正を完了した埼玉県国民健康保険運営方針（案）を審議する予定であるとのことでございます。



ここが聞きたい!

市政に対する一般質問

議員は、定例会において市政全般に対する質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。質問の中から、主なものの要旨を質問者順に7～11ページへ掲載しました。なお、詳細は会議録やホームページでもご覧いただくことができます。

一般質問事項（質問順）

- 1 田中良夫議員（創政会）**
 - 交通事故防止の安全対策について
 - 建物火災発生時における消防活動について
 - 今後の市政に対する方針について
- 2 大内清心議員（公明党）**
 - 子育て支援の充実について
 - 地域包括ケアシステムの構築について
 - 空家対策について
- 3 森本寿子議員（公明党）**
 - 地域共生社会について
 - 地域防災力の向上について
 - 動物との共生社会を目指して
 - 弱い弱者支援について
- 4 竹内政雄議員（創政会）**
 - ごみ処理の現状と課題について
 - 都市計画法第34条第11号について
- 5 金子正則議員（新政会）**
 - 県道北中曽根北大桑バイパスの開通予定について
 - 都市計画道路下高柳道地線（県道久喜騎西バイパス）について
- 6 池田年美議員（公明党）**
 - 環境美化サポートボランティア団体について
 - 消防団の活動について
 - 利根保健医療圏地域医療ネットワークシステム「とねっと」について
 - 耕作放棄地利用について
- 7 小林利一議員（創政会）**
 - 小中学校の教育環境について
 - 市の財政力指数について
 - 市の雇用者1人あたりの雇用者報酬について
 - 子育て支援について
- 8 野中芳子議員（民進党）**
 - 童謡のふる里おおとねカスリーン公園の維持管理について
 - 地域医療体制について
 - スポーツで高齢化社会の健康づくりを
 - 受動喫煙防止について
 - ムクドリ対策について
- 9 吉田健一議員（創政会）**
 - 地域通貨発行による地域福祉サービス支援について
 - 観光事業について
 - ごみ減量化について
- 10 新井好一議員（創政会）**
 - ほ場整備事業の現状と今後について
 - 渡良瀬遊水地の利活用に関して
- 11 齋藤理史議員（新政会）**
 - 利根川左岸の水害対策
 - 加須駅南口道路の名称について
 - 安心安全なまちづくりについて
- 12 鈴木久才議員（創政会）**
 - 医療費の負担が公民共に重い国民健康保険の運営主体が市から県へと変わるがどう変わるのかについて
 - 財政難の中、病気予防が最も大切ですが特定健康診査の受診率向上について
- 13 小林信雄議員（民進党）**
 - 水辺環境ときれいな水の再生について
 - 水道事業について
 - 橋りょう整備計画うち市民生活に影響の少ない橋りょう（主に農業機械が利用）について
- 14 中條恵子議員（公明党）**
 - 子ども子育て支援について
 - 「子ども安心安全基金」について
- 15 及川和子議員（日本共産党）**
 - 水害時における広域避難について
 - 「コミュニティバスの運行改善
 - 16 松本英子議員（日本共産党）**
 - 高齢者虐待防止について
 - 小規模契約希望者登録制度の推進について
 - 三世代ふれあい家族応援事業の推進について
 - 信号機設置について
 - 17 佐伯由恵議員（日本共産党）**
 - 私市（騎西）城を生かしたまちおこしについて
 - 安心できる介護保険制度について
 - 臨時職員の時給引き上げについて
 - 18 小坂徳蔵議員（日本共産党）**
 - 県道加須鴻巣線の整備について
 - 平和都市宣言と核兵器禁止条約について
 - 学校エアコンの設置について
 - 公立学童保育の待機児童解消について
 - 教員の長時間労働解消について
 - 公職選挙法改正について



地域づくり

地域共生社会への取組みは

答弁: 市民の皆様と協働のまちづくりを進めていくことが、これからの長寿社会における地域共生社会の地域づくりにつながるものと考えます。

森本 寿子 議員

森本 子どもや高齢者、障がい者など、全ての人が住み慣れた地域で自分らしく生活していくために、様々なニーズに対応する全庁横断的な相談体制を構築していくことが大変重要であると思います。地域共生社会についての将来的な取組みについての考えをお伺いします。

市長 本市では、加須市協働によるまちづくり推進条例を制定し、まちづくりの基本理念や基本原則、それぞれの立場での役割、責務等を示し、市民が主体、主

まちづくり

都市計画法第34条第11号についての考えは

答弁: 規制緩和のもたらした効果は、本市にとってプラスの効果があったと認識しておりますが、問題もあるという事は申し上げたいと思います。

竹内 政雄 議員

竹内 都市計画法第34条第11号については、今後の計画的なまちづくりや農業問題、環境問題、中心市街地の空洞化問題、さらに地域間の格差等、様々な意味で大変重要だと思っておりますが、11号区域に対する考え方と今後の見直しについてお伺いします。

市長 都市計画法第34条第11号の指定による規制緩和については、その効果は一定程度あったと認識しておりますが、それ以上の課題も見えてきました。全国的に人口が減少している状況から考えると、やはりこの規制緩和も適時適切に見直しをしていく必要があります。本市のまちづくりを社会状況の推移を見ながら検討していく必要があると考えております。

規制緩和のもたらした効果については、今の加須市にとって総合的に考えるとプラスの効果があったと現時点では認識しております。しかしながら、問題もあるという事は申し上げたいと思います。

交通安全対策

交差点に一時停止標識を設置することについての対応は

答弁: 当該交差点への一時停止の規制は、交通量等の調査結果から難しい状況であるため、車両のスピード抑制等を図るための安全対策を加須警察署と協議してまいりたいと考えております。

田中 良夫 議員

田中 アスタホール東方向の沖合排水路、通称めだかの小径と並行する南北の道路のうち3力所の交差点では、栗橋駅西土地区画整理事業が完了し、信号機がないため栗橋駅への抜け道として通過車両が多く、さらに一時停止の標識が設置されていないことから、出会い頭の交通事故も発生しております。この3力所の交差点で地域住民が事故に遭わないよう、また事故を起こさないよう、一時停止の標識を設置することについての考えをお伺いします。

大利根総合支所長 現地の状況を確認し加須警察署と協議を行いました。加須警察署では交通量等の調査結果や当該交差点の事故発生状況から、一時停止の規制をしなければ交通事故防止や安全な通行が図れない状況ではないため、一時停止の規制標識の設置は難しいとのことでした。

現在、市ができる法定外の路面標示等を設置しておりますが、さらに車両のスピード抑制等を図るため、文字による路面標示や看板など加須警察署と協議し、効果的な安全対策を講じてまいりたいと考えております。

空家対策

空家対策補助制度に対する考えは

答弁: 空家問題が少しでも進展する仕組みを研究しながら、本市にふさわしい対策を講じていく必要があるとの考えのもと、適切な対応をまいります。

大内 清心 議員

大内 空家等対策特別措置法が全面施行されてから、多くの自治体で、様々な補助制度により、空家対策が進められています。本市でも空家の数は増え続けており、早期の対応が求められています。他市の例では、空家の解体補助制度や空家を活用した人に補助金を支給する制度などの取組みを行っております。本市では空家バンク等に取り組んでいくとのことですが、空家の解体補助制度も含め、工夫を凝らして魅力ある取組みを行っていただきたいと

思います。考えをお伺いします。

市長 空家問題については、基本的には個人の財産であるため、行政がどの程度手を加えられるのか難しい問題です。また、行政が税金を使ってどの程度まで対策をとるのかについては、各市の置かれた状況により様々でございます。今後とも空家問題が少しでも進展する仕組みを研究しながら、本市にふさわしい対策を講じていく必要があるとの考えのもと、適切な対応をまいります。

財政力指数の向上

財政力指数の向上と今後の施策は

答弁: 収支の均衡、債務残高の圧縮、将来の備えを基本姿勢とした財政運営を行うとともに、さらなる自主財源を増やす努力をまいります。

小林 利一 議員

小林 平成28年度の県内の市平均財政力指数は0.860です。本市は0.753であり、平均を下回り、県内40市中36番目となっております。市内には多くの企業が進出しています。農業も生産高は県内上位であり、バランスのとれた地域であると思っております。効率的な財政運営を行っていく上でも、財政力指数は重要です。財政力指数の向上と今後の施策について伺います。

総合政策部長 財政力指数の向上には自主財源である税金などを増加させることが有効であり、そのためには、工業団地開発等による雇用の創出、市税などの収納率の向上や新たな財源の確保等が必要となります。しかしながら工業団地の整備では、農地転用は厳しい制約があるため、用地確保は簡単ではありません。今後も増え続ける財政需要を考慮しつつ、行財政改革を一層推進しながら、きめ細やかな市民サービスを安定的、継続的に提供していくため、引き続き収支の均衡、債務残高の圧縮、将来の備えを基本姿勢として効果的で効率的な財政運営を図ってまいります。

地域医療

安心できる地域医療体制を

答弁: 地域医療ネットワークシステム「とねっと」については、システム更新により有効活用され、実績を積み重ねていく方向で努力をまいります。

野中 芳子 議員

野中 済生会栗橋病院の現在の救急医療体制と、一部機能移転を見据えた医師確保に向けた支援について伺います。また、地域医療ネットワークシステム「とねっと」は、構築時からの医療環境の変化や、平成30年度に予定しているシステム更新を受けてどう変化していくのかお伺いします。

健康医療部長 済生会栗橋病院によりますと、救急救命医を中心とした2名体制による24時間365日の受入れ体制が確保されており、救急搬送の要請に対する受け入れの割合は9割程度で年々増加傾向にあるとのこと。また、医師確保に向けた支援についても、済生会新病院の誘致に併せ、検討してまいりたいと考えております。市長 「とねっと」については、従来以上に、医師にとって使いやすく、また患者に有効なシステムとなるよう更新作業を進めてまいりたいと考えております。一方で、埼玉県地域医療構想にも明記されているように、システムの利用圏の拡大も大事であると考えておりますので、まずはシステムが加須市民にとって有効活用され、実績を積み重ねていく方向で最大限の努力をまいります。

環境美化

環境美化サポートボランティア団体に対する考えは

答弁: ボランティアが活動しやすい体制づくりのため様々な点で積極的に支援してまいりたいと考えております。

金子 正則 議員

金子 市の財政も限られている中で、多くのボランティア団体が地域美化の活動を行っており、その役割は大きな力になります。今後もこのような活動をさらに広げていくために多くの市民の皆様を知っていただき、参加していただく体制づくりが必要であると思っております。今後のボランティア団体に対する取組みについて伺います。

市長 市民の皆様が、道路、公園等の公共施設の清掃活動など、環境美化に努めていただいていることは非常に大きな力になっております。このような地道な社会貢献活動に対し、市では積極的に支援するという考え方に立ち、物的な支援のほか、感謝状の贈呈といった表彰等も行っております。また、埼玉県道路協会においても道路功労者表彰、道路愛護功労者表彰等を行っており、市内の団体が連続して受賞しています。今後におきましても、表彰制度のみならず、ボランティアが活動しやすい体制づくりのため様々な点で積極的に支援してまいりたいと考えております。

地域医療

「とねっと」の利便性の向上に向けた取組みは

答弁: 地域医療ネットワークシステム「とねっと」については、平成30年度のシステム更新を図り、医師をはじめ利用者の皆様にとって、診療に役立つ有益なシステムとなるよう改善してまいります。

池田 年美 議員

池田 「とねっと」は、かかりつけ医と中核病院が連携し、地域全体で住民の診療を完結できるようにつくられたシステムと伺っています。より多くの方が利用しやすくするために、診察券がなくても「とねっと」のカード1枚で、自分の患者番号を登録済の医療機関で受診できるよう、また、常時複数の医療機関を受診している高齢者などが、診察券を何枚も持ち歩く必要のないように、システムの更新をいただきたいと思います。

健康医療部長 平成30年度のシステム更新につきましては、医師をはじめ、利用者の皆様にとって、診療に役立つ有益なシステムに改善し、その結果として、質の高い医療の提供や救急面での更なる活用、健康管理面での更なる充実など、市民の皆様にもメリットとして還元されるシステムにしてまいりたいと考えております。また、「かかりつけ医カード」の利便性の向上を図るため、カードのICチップ化や予防医療を推進していく上での健康記録システムの充実に向け、検討しております。

まちづくり

道路の名称及び街角消火器の設置に対する考えは

答弁: 市民の皆様が親しまれ愛着の持てる名称について検討してまいります。また、街角消火器の設置については、自主防災会が市の補助金を活用し、設置することができます。

齋藤 理史 議員
齋藤 加須駅南口から騎西商店街までの市道は、騎西地域からの駅利用者や市外に向かう方など多くの方が利用しています。約2.7kmの長さですが、病院誘致の予定もあり、これからの開発が期待される道路です。この道路の名称について要望もあることから、道路に名称をつけていただくことができるかお伺いします。

建設部長 今後、全市道の名称についての調査を行い、その後この路線を含め、市民の皆様の声を聞きながら親しまれ愛着の持てる名称について検討してまいります。

環境安全部長 市として、市街地に街角消火器を配備する予定はありませんが、自主防災会が自発的に設置する場合、市の補助金を活用し購入することが可能となっております。引き続き自主防災会に対する支援に努め、市民の皆様や関係機関と一体になり、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

地域通貨

地域通貨発行による地域福祉サービス支援への取組みは

答弁: サポーターの確保についてPRを行うとともに、絆サポート券の取扱店の拡大についても商工会との連携のもと進めてまいります。

吉田 健一 議員
吉田 地域通貨の目的はコミュニティの再生、市民参加のまちづくり、地域経済の活性化、社会福祉、環境等さまざまです。これから高齢者が年々増える中、サポート率は当然高くなっていくと考えられます。このためサポーターの人員をこれから増やしていくことも、考えていかななくてはならないと思います。

経済部長 サポーターの確保は重要であると考えており、この事業を安定して継続していくための課題と捉えております。広報紙やホームページへの掲載、チラシの配布等により制度の周知とサポーターの拡大を広く呼びかけるとともに、各関係機関と連携の上、絆サポート事業への参加協力を積極的に働きかけてまいります。

また、絆サポート券の利用促進として、取扱店の拡大につきましても商工会との連携のもと進めてまいります。

国保の広域化

国保の広域化に伴う市民への影響は

答弁: 申請、届け出などの各種手続きや保険税の賦課徴収等の方法に変更はございません。

鈴木 久才 議員
鈴木 国民健康保険の財政は危機的な状況が以前から続いており、財政基盤を強化するため、来年度から国民健康保険の運営主体が市から県へ変わることが決定しています。そこで、広域化に伴う運営方針、市民への影響についてお伺いします。

健康医療部長 現在審議中の運営方針(案)では、事業費納付金や事業の実施に係る経費を賄うために必要な保険料率を設定し、目標とする収納額を確保することにより、国保特別会計の収支を均衡させることを原則としております。市では原則として毎年度保険料率を決定し、その見込んだ額に過不足があった場合、翌年度以降に精算していく従来からの考え方を広域化後においても踏襲し、事業運営を進めてまいります。

また、市民への影響をいいたしましては、県と市が共同保険者になるため、被保険証の様式や高額療養費の多数回該当算定方法は変更となりますが、申請、届け出などの各種手続きや保険税の賦課徴収等の方法に変更はございません。

水害対策

利根川左岸の水害対策についての取組みは

答弁: 引き続き国に対し、利根川左岸及び渡良瀬川右岸の堤防強化について、速やかな整備着手を要望してまいります。

新井 好一 議員
新井 日本全国で異常な天候により大雨が降っています。このような中、市民の間では、利根川の右岸と左岸で、堤防の高さが違うことについて、非常に心配をしております。右岸の方では、首都圏氾濫堤防強化事業が進められていますが、将来の地盤沈下を見越してかさ上げした状態で右岸側が整備されていることから、左岸側は低い状態になっております。この問題についての考えをお伺いします。

建設部長 北川辺地域も利根川右岸の堤防強化対策と同様に、安全性の確保を早期に図ることが必要であると考えております。また、自治協力団体連合会北川辺支部から要望書が提出されたことから、市では利根川上流河川事務所長及び関東地方整備局長へ堤防強化の整備推進の要望書を提出したところ、総合的な治水対策を実施しているところであり、今後も順序立てて取り組んでいくこととあります。今後も地域の皆様のご理解を賜り、総合的な治水対策のレベルを上げていくため、引き続き国に対して、堤防強化の速やかな整備着手を要望してまいります。

河川の水質汚濁と浄化 についての考えは

答弁: 合併処理浄化槽への転換や維持管理の徹底について、市報等により意識啓発に努めてまいります。

河川の水質浄化

小林 信雄 議員

小林 羽生市街地内にある地点から10km下流の加須市の道橋までと、さらに下流の久喜市と幸手市境にある御幸橋までは埼玉県生活排水地域重点地域となっております。水質汚染度は、上流と下流の市境の比較をすることで目安になるとは思いますが、BODの値についてお伺いします。また、浄化槽整備区域では、合併処理浄化槽への転換促進と維持管理の徹底により水質が改善されますが、合併処理浄化槽への転換の取り組みについてお伺いします。

いほごきれいな水として判断されます。平成29年2月の調査では、中川では、羽生市境5・9に対し、大利根地域古門樋橋では、6・7、会の川では、串作16・4に対し葛西用水との合流点4・8となっており、河川周辺の排水状況、天候などにより数値は変化します。一概に、原因とは言えません。現在、合併処理浄化槽の普及率は44・4%ですが転換や維持管理の徹底は、周辺河川などの公共水域の水質の向上と環境保全につながるものであるため、今後も市報やホームページの活用、戸別訪問の実施により意識啓発に努めてまいります。

コミュニティバスの運行 改善についての考えは

答弁: 一定の運行ルールの範囲内において、北エリアを利用する方の利便性の向上について、検討してまいります。

コミュニティバス

及川 和子 議員

及川 コミュニティバス運行の目的は、高齢者、交通弱者の病院、公共施設等への移動手段を確保し、公共交通の維持、充実を図ることです。しかし、北川辺地域、北エリアの状況はこの目的に対して極めて不十分だと思っております。地域にはない耳鼻咽喉科、眼科などの医療機関に乗り換えなしで通院できるようにして欲しいという住民の声や、利便性に沿った運行改善を図ることについての考えをお伺いします。

間の制限がある中で、送迎場所によっては送迎できる人数が少なくなってしまうことから、遠方のエリア外乗り入れポイントの追加は現在考えておりません。ただし、送迎時間の制約の中で対応できるような北エリアから比較的近い場所につきましましては、エリア外乗り入れポイントの増加など、北エリアの利便性の向上について、検討してまいります。また、今後、状況に様々な変化が生じれば、最適な制度となるよう、必要な改善を図ってまいります。

加須市の目指す幼稚園 教育は

答弁: 来年度「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」が改訂されることを踏まえて、本市の教育がさらに充実するよう進めてまいりたいと考えております。

幼稚園教育

中條 恵子 議員

中條 加須市子ども・子育て支援計画が平成27年3月に策定されており、その基本理念は子どもを産み育てることに喜びを実感できるまちづくりとしています。一人の子どもに対する幼児教育を考えると、保護者などの状況により、保育所と幼稚園、施設は違っても小学校入学前までの保育が等しく受けられるべきであると思えます。加須市の幼稚園教育とはどのような教育を目指しているのかお伺いします。

来年度、保育所と幼稚園の保育内容が一層歩み寄り、小学校への連携をさらに深めることを目的として、「保育所保育指針」と「幼稚園教育要領」が改訂されます。そのことを踏まえて、教育がさらに充実するよう進めてまいりたいと考えております。

三世代ふれあい家族応援 事業への考えは

答弁: 人口減少に対応した様々な事業を総合的に展開する必要があると考えております。

定住化の促進

松本 英子 議員

松本 人口減少に歯止めがかかりません。20年後の新成人は3割から6割も減少することになりそうです。市は子育て支援や高齢者の安心な暮らし、親・子・孫の三世代での定住化促進のため、「三世代ふれあい家族応援事業」を推進しております。そのためのリフォーム改修工事に市内業者を利用すれば補助金が上乗せされ、地域経済の活性化になります。アンケートも実施されます。実りある事業にするための考えをお伺いします。

この事業は、核家族化の流れを変える一つの方策であると同時に、雇用効果、転入人口、定住化人口の増加という効果も期待して、導入したところでございます。今後は、本事業を利用した家族に直接会って話を伺うことで、住みよいまちづくりのヒントが得られるものと考えております。3年という期間限定の事業ですが、効果を判断しながら期間の延長もあろうかと思っております。いずれにしても、この施策も含めて、人口減少に対応した様々な事業を総合的に展開する必要があると考えております。

核兵器廃絶への考えは

答弁: 市民の皆様と一緒に核兵器廃絶も含め、世界平和の実現という最終目標に向かい、今後も歩んでまいりたいと考えております。

小坂 徳蔵 議員
小坂 本市は、「私たちは、世界唯一の核被爆国として、全世界の人々に核兵器等の廃絶を強く求め、戦争や紛争などが繰り返されることのないよう、平和の尊さを訴え続けます」と平和都市宣言をしています。さらに、核兵器廃絶を目的に掲げている平和首長会議に加盟しております。平和首長会議総会の特別決議の結末にある「核保有国を含む全ての国に対し、条約への加盟を要請し、条約の日も早い発効を求める」という立場で核兵器の全面禁止に取り組みよう望んでおります。

市長 平和首長会議は、核兵器による悲劇が二度と繰り返されてはならないという強い信念のもとに市民の安全を守るべき都市が緊密に連携し、核兵器廃絶への世論を国際的な規模で喚起する趣旨で設立されました。平和首長会議に加盟する一団体として、また一市長として、その活動に賛同し、市民の皆様と一緒に核兵器廃絶も含めて、世界平和の実現という最終目標に向かって今後も歩んでまいりたいと考えております。

私市(騎西)城を生かしたまちおこしについての考えは

答弁: 戦略的な視点を意識し有効に活用できるよう研究してまいります。まちおこしの中心は、地域を愛する市民の盛り上がり、市民の力であると考えております。

佐伯 由恵 議員
佐伯 私市(騎西)城の遺構として残る土塁をはじめ二の丸跡、天神曲輪跡、障子堀跡などにたたずむと歴史の中の一コマにタイムスリップしたような気持ちになります。私市城の壮大な歴史的ロマンと約600年間歩んできた歴史的価値に光を当て、市民との協働で城を中核にしたまちおこしを図っていくことを提案いたしますが、考えをお伺いします。

総合政策部長 多数の出土品や貴重な史料を有する私市(騎西)城は本市の資源であります。歴史のある部分や特定の史料にスポットを当て、集中的に紹介するなどターゲットを定め、内容や情報発信手段などを見極めた上で、戦略的な視点を意識し有効に活用できるように研究してまいります。

市長 まちおこしの中心は、地域を愛する市民の盛り上がり、市民の力であると思っております。多くの方に本市の歴史を知っていただき、新たなまちづくりを生かしていくことは必要であると考えておりますが、施設整備については、現時点では難しいと感じており、まずは情報発信など地域の方に声を上げていただきスタートしていくことも重要であると考えております。

議案に対する討論

採決に先立ち、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

平成28年度一般会計決算認定

反対討論

2016年度の事業を全体的に見た場合、市民の切実な願いが放置されており、市政の著しい立ち遅れ、税金の無駄遣いなど容認できない基本的な問題が含まれております。それは、小・中学校へのエアコン設置が行われなかったこと、身の丈を超える野中土地画整理事業への事業費の増額、地震災害による減災対策が不十分なこと、費用対効果や情報セキュリティ問題を考えた場合の個人番号カードによる住

賛成討論

民票等のコンビニ交付、さらに同和事業と同和教育を継続していること、これら容認できない問題を市民の立場から、指摘し本案に反対するものです。

生産年齢人口の減少に伴う税収の減や合併による財政優遇措置の縮減がされるなど厳しい状況の中、本市の財政運営の基本姿勢であります収支の均衡、債務残高の圧縮、将来への備え、これらもしっかり守られ、財政の健全性が確実に保たれていることを高く評価するものです。

まず、全国こいのぼり写真コンクール事業によって「こいのぼりのまち加須」のアピールができました。また、第二保育所の建替えを行い、名称を「こすもす保育園」

とし、保育環境の整備充実を図りました。子どもを産み育てる各施策では、不妊治療や妊婦健診、育児支援や健康相談、3歳児保育の実施と切れ目なく事業を展開しております。さらに、市内の優れた商品や農産物等をかぞブランドとして認定する制度をスタートさせ、35品目を超える「かぞ認定ブランド」を発表し産業振興を図るなど、未来につながる加須市づくりが大きく、確実に歩みを進めたものと高く評価できることから、本案に賛成するものです。



こすもす保育園

委員会の審議内容

各常任委員会は、9月15日、付託された特別会計決算等の16案件（総務常任委員会4議案、民生教育常任委員会5議案、産業建設常任委員会7議案）について審査を行いました。

また、決算特別委員会（各会派から選出された委員で構成）は、9月20日、21日、22日、25日及び27日の5日間で一般会計決算認定について慎重に審査を行いました。

なお、委員会の主な審査内容は次のとおりです。

総務常任委員会

3議案 可決
1議案 認定

委員長 小勝裕真
副委員長 松本英子
委員 藤原史子、中條裕、酒巻ふみ、吉田健一、鈴木久才、小林信雄、小坂徳藏

《一般会計補正予算(第3号)》

マイナンバーカード交付等事業

問 マイナンバーカードの申請状況及び紛失件数は。

答 マイナンバーカードの発行枚数は9993枚、申請枚数は1万2976枚で、紛失は22枚です。

・子育て参加機運醸成事業

問 料理教室の対象、場所及び講師等は。

答 男性の家事育児の参加を促進するため、料理教室を2回開催する予定であり、キヤッスルささいの調理実習室で1回当たり20人を予定しています。講師は、パパ料理研究家の滝村雅晴氏を予定しています。対象を小学生や就学前のお子さんをお持ちのお父さんとし、開催は日曜日を予定しています。



・老人福祉センター管理運営事業

問 100の湯の施設の設置年数及び利用状況は。

答 100の湯は、平成17年8月に開設以来、12年が経過しています。利用状況については、平成29年3月末で3万6558人です。

《加須市プラザささい条例》

問 騎西総合支所部分とコミュニティセンター部分の休日の人の動線対応、夜間の点検対応は。

答 動線を遮断し、区分けし対応します。また、夜間の点検については、シルバー人材センターへの委託を考えています。

《住宅新築資金等貸付事業決算認定》

問 公債費の償還終了時期は。

答 平成31年度をもって終了する見込みです。

民生教育常任委員会

5議案 認定

委員長 大内清心
副委員長 小林利一
委員 金子正則、新井好一、鎌田勝義、池田年美、及川和子、齋藤和雄、平井喜一朗

《国民健康保険事業決算認定》

問 出産育児一時金支給事業の支給額と実績は。

答 出産育児一時金として40万4000円、産科医療保障制度加入者は42万円支給しており、支給実績は、平成28年度94件です。



《国民健康保険直営診療所決算認定》

問 施設整備等基金が2325万円ある中で、今後の施設及び機器の改修予定は。

答 今後X線撮影装置、いわゆるレントゲンを更新する計画があります。

《後期高齢者医療決算認定》

問 集団健診の実施期間と会場数は。

答 平成28年度は9月25日から11月1日までの間、17箇所で行った。国保の特定健診と合わせて実施しています。

《介護保険事業決算認定》

問 滞納者への給付制限は。

答 納付している方との公平性を確保するために納付折衝を行いながら、少しでも納付することにより給付制限を行わないように対応しています。なお、現在、給付制限の対象者はおりません。

《河野博士育英事業決算認定》

問 申込者全員が給付を受けられるのか。

答 平成27年度は申込みが13人であり、全員が対象となった。平成28年度は申込みが24人あり、9人が対象外、平成29年度は申込みが18人あり、8人が対象外でありました。



産業建設常任委員会

7 議案 認定等

委員長 肇
栗原
副委員長 野中芳子
委員 正行 夫
松本 正 子
福島 本 寿
森本 政 雄
竹内 沼 秀
柿沼 由 恵
佐伯 中 夫
田中 良 夫

《農業集落排水事業決算認定》

問 16箇所ある農業集落排水施設の現状は。

答 約30年経過している施設が2箇所あり、平成28年度に1箇所改修を行い、もう1箇所は平成30年度中に改修予定です。

《加須都市計画事業二俣第一土地区画整理事業決算認定》

問 清算金の支払いは。

答 既に終了しており、特別会計を閉鎖するために動いています。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 雨水管整備の状況と道路整備進捗率は。

答 雨水管の総延長の計画が5171mであり、整備済みが2080mで進捗率は約40・2%、道路の総延長が1万7926mであり、整備済

みが7879mで進捗率は約44%です。

《加須都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業決算認定》

問 昨年の12月16日に換地処分が行われ、事業としては清算金の交付が残っているがその状況は。

答 調定額が1億4478万円、金額的には99・4%終了しています。対象者505人に対して486人に交付、残りは通知しているが、請求書が未提出のため交付できない状況です。

《水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 石綿セメント管の改修計画は。

答 市内には約8%の石綿セメント管が残存しており、計画的に整備していきます。

決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 良夫
田中
副委員長 清心
大内
委員 史雄
藤理 真藏
齋藤 裕徳
竹内 小好
小勝 小好
小坂 新井

《一般会計決算認定》

問 ふるさと納税促進事業に
関し、前年度との比較で、変化
したところは。

答 平成28年9月1日から「ふるさとチョイス」というふるさと納税ポータルサイトを介してクレジット決済できる寄附の仕方に変更しました。また、返礼品を増加し、かぞブランドのPRにもなっており普及に努めていきます。

問 道路維持管理事業に
関し、生活道路整備事業評価シ
ステムとは。

答 自治会から出てくる生活道路の整備の要望が多いことから、交通量、道路幅員、通学路の指定、住宅の立地状況、地権者の同意等様々な要件を点数化して、点数の高いものを優先して整備していくものです。

問 リサイクル協働事業に
関し、集積所整備支援の内容は。

答 ごみ集積所については、各地区のリサイクル推進協力が管理しており、集積所の舗装等の整備をする際に10万円を上限とし、8割を助成しています。平成28年度の実績は15件です。

問 給食センター管理運営事
業に
関し、地元農産物の使用
率を上げる必要があるのでは
ないか。

答 学校給食では、3センターとも、地場産野菜について、規格外のものでも品質に問題がなければ、積極的に使用するなどの結果、年々使用率は上がってきています。給食の場合、多くの量を一度に納品できる業者を見つけない状況にありますが、農業振興課と連携を図り、今後も使用率を伸ばしていきます。

【現地調査実施箇所】

- ・ 騎西総合支所耐震対策事業 (騎西総合支所)
- ・ 給食センター管理運営事業 (騎西学校給食センター)
- ・ 溢水対策整備事業 (礼羽排水機場)
- ・ 北川辺排水機場大規模修繕事業 (北川辺排水機場 (栄地区))
- ・ 小学校施設整備事業・公立放課後児童健全育成事業 (水深小学校・水深小学校第三健全育成室)
- ・ 公立保育所施設整備事業 (こすもす保育園)



決算特別委員会現地調査 (北川辺排水機場)

平成29年第3回定例会 議案の審議結果

○賛成、×反対

議案番号	議案名	会派名等						議決結果	
		新政会 (7人)	創政会 (8人)	民進党 (2人)	公明党 (4人)	日本 共産党 (4人)	無所属 (1人)		
市 長 提 出 議 案	76	平成29年度加須市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	可決
	77	平成29年度加須市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
	78	加須市個人情報保護条例及び加須市情報公開条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	79	加須市プラザきさい条例	○	○	○	○	○	○	可決
	80	加須市立コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	81	加須市保健センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	82	加須市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例及び加須市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	83	平成28年度加須市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	84	平成28年度加須市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	85	平成28年度加須市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	86	平成28年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
	87	平成28年度加須市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	88	平成28年度加須市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	89	平成28年度加須市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	90	平成28年度加須都市計画事業不動岡土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
	91	平成28年度加須都市計画事業三俣第二土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
	92	平成28年度加須都市計画事業野中土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	93	平成28年度加須都市計画事業栗橋駅西(大利根地区)土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	×	○	認定
	94	平成28年度河野博士育英事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	認定
95	平成28年度加須市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	可決及び認定	
96	平成28年度加須市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	○	○	○	○	×	○	可決及び認定	
97	平成29年度加須市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決	
議員提出議案	1	北朝鮮の核実験に強く抗議し、米朝対話による外交的解決を求める決議	○	×	○	×	○	○	可決
	2	北朝鮮による核実験及び弾道ミサイル発射実験に抗議する決議	×	○	×	○	×	×	否決

市民公開研修講座を開催しました

現在加須市議会では、市民に信頼され開かれた議会を目指すべく、議会改革特別委員会を設置し、議会改革に取り組んでいます。

8月22日(火)、本庁舎4階全員協議会室において、市民の方も参加し、「地方自治法70周年と地方議会の課題について」をテーマに平成国際大学法学部教授 浅野和生先生による市民公開研修講座を開催しました。



国土交通省に要望書を提出しました

10月11日(水)、市長とともに市議会正副議長及び各党会派代表4名が、国土交通省水管理・国土保全局を訪ね、利根川左岸並びに渡良瀬川右岸の堤防強化の整備促進について、市議会議員全員の連名による要望書を提出いたしました。

市議会としても、洪水被害から市民の生命と財産を守るため、さらなる治水対策の充実と安全性の確保をお願いするものです。



請願・陳情の提出について

請願・陳情は、市民の皆様が市政に対する意見や要望を議会に提出できる制度です。提出された請願・陳情は、議会運営委員会において内容を審査し、必要であれば、所管するそれぞれの常任委員会でも慎重に審査され、本会議で「採択」、「不採択」を決定します。

請願

市議会への請願の提出は、次の要領でお願いします。

- ① 請願書の提出には、加須市議会議員1人以上の紹介が必要で、請願書の表紙に紹介議員1人以上の署名または記名押印をしてください。
- ② 請願書には、件名、要旨、理由、提出年月日及び請願者の住所・氏名を記載して押印してください。

※団体(法人)の場合は、所在地、団体名、代表者の役職名及び氏名

③ 請願者が複数による連署の場合は、代表者を決めて提出してください。

④ 道路、河川等場所に関するものについては、案内図等を必ず添付してください。

⑤ 定例議会開催初日の7日前正午までに、議会事務局にご提出ください。

《請願書記載例》

(内容)

件名 ○○○○に関する請願
要旨 _____
理由 _____

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

平成 年 月 日

請願者(代表)
住所 ○○○○○○
氏名 ○ ○ ○ ○ ⊕

加須市議会議長
○ ○ ○ ○ 様

(表紙)

○○○○○に関する請願書

紹介議員
○ ○ ○ ○ ⊕

陳情

市議会への陳情の提出は、次の要領でお願いします。

① 陳情書には、件名、要旨、理由、提出年月日及び陳情者の住所・氏名を記載して押印

(内容)

件名 ○○○○に関する陳情
要旨 _____
理由 _____

平成 年 月 日

陳情者(代表)
住所 ○○○○○○
氏名 ○ ○ ○ ○ ⊕

加須市議会議長
○ ○ ○ ○ 様

(表紙)

○○○○○に関する陳情書

してください。

※団体(法人)の場合は、所在地、団体名、代表者の役職名及び氏名

② 陳情者が複数による連署の場合は、代表者を決めて提出してください。

③ 道路、河川等場所に関するものについては、案内図等を必ず添付してください。

④ 定例議会開催初日の7日前正午までに、議会事務局にご提出ください。

《陳情書記載例》



議員活動紹介

—こんな事業に参加しました—



花咲徳栄高校優勝報告会
9月1日(金) パストラルかぞにおいて



第25回「治水の日」継承式典
9月16日(土) パストラルかぞにおいて



第37回加須地域市民まつり
10月15日(日) パストラルかぞにおいて

第3回定例会 会期日程

9. 1(金)	本会議
9. 8(金)	本会議(議案質疑)
9. 11(月)	本会議(一般質問)
9. 12(火)	本会議(一般質問)
9. 13(水)	本会議(一般質問)
9. 14(木)	本会議(一般質問)
9. 15(金)	常任委員会
9. 20(水)	決算特別委員会
9. 21(木)	決算特別委員会
9. 22(金)	決算特別委員会
9. 25(月)	決算特別委員会
9. 27(水)	決算特別委員会
9. 28(木)	本会議
10. 2(月)	本会議



編集後記

今年の夏の甲子園は、花咲徳栄高校の全国制覇に沸きました。99回目にして初めて埼玉県に、そして加須市に深紅の優勝旗をもってきていただきました。加須市民にとって、大きな感動をいただいた暑い暑い夏でした。そんな夏も終わり、秋の深まりを感じる季節となりました。

さて、9月議会は、平成28年度に執行された、決算を審査するための重要な議会です。そのため決算特別委員会が設置され、慎重に審査が行われた上で決算が認定されました。

これからも、市民の皆様とともに、開かれた分かりやすい議会を目指してまいります。そして、市民の皆様が安心して生活できるまちづくりに努めていきたいと思えます。

(編集副委員長 金子正則)

市議会だより編集委員会

委員長	鈴木久才	副委員長	金子正則
委員	佐伯由恵	小坂 裕	小勝裕真
	池田年美	小林利一	齋藤理史

あなたも議会を傍聴しませんか。

議会の傍聴は、市政の方針等を知る良い機会です。
平成29年第4回定例会は、11月27日から行われる予定です。
皆様の傍聴をお待ちしています。

